

ダウンロード / 歩掛変更

ダウンロードする

インターネット経由で、歩掛変更データ、およびシステム更新ファイルをダウンロードします。

ここでは、起動メニューからデータをダウンロードする手順についてご説明します。



ダウンロードでは、お客様のコンピュータ内のデータとの差分がダウンロードされます。



以下の環境でインターネット接続が行われていると、ダウンロードができない場合があります。

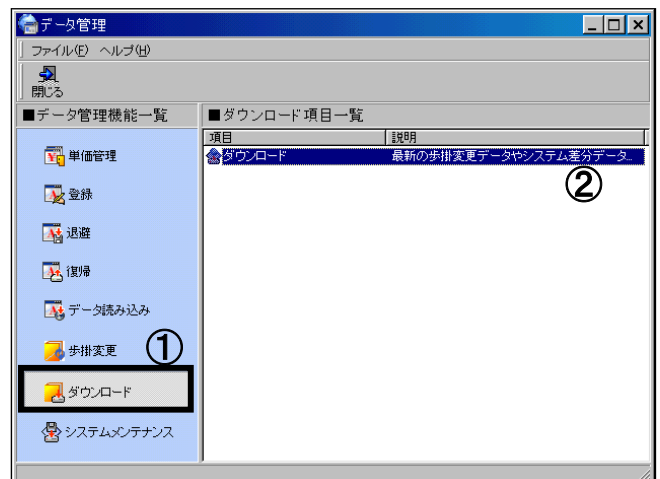
- プロキシサーバーを使用している場合
- DNS サーバーに登録していないプロバイダを使用している場合
- ルーターまたはファイアウォールの設定で、自動でインターネットを切断する時間が短く設定されている場合

* ネットワーク管理者もしくは、プロバイダへご確認下さい。

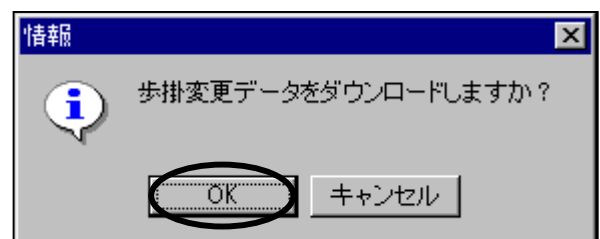
1. ダウンロードを選択する

① 「データ管理」画面にて、画面左側の「データ管理機能一覧」より、[ダウンロード] をクリックします。

② 画面右側の「ダウンロード項目一覧」より、「ダウンロード」をダブルクリックします。




右図のメッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。





●積算から行う

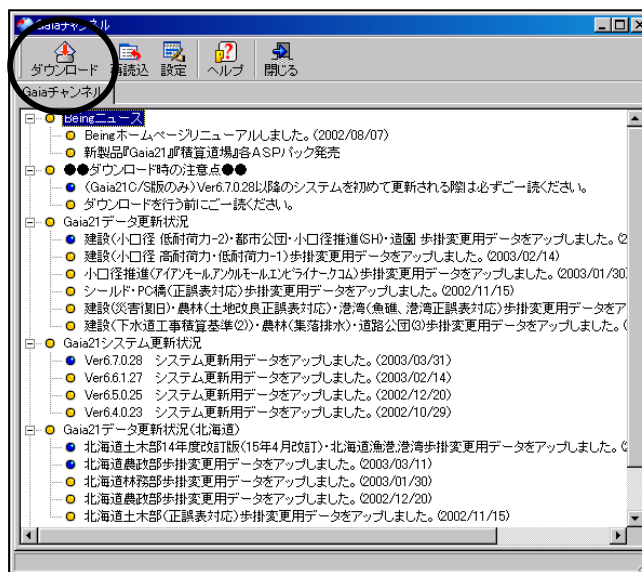
[積算] から同様の操作を行うことができます。

- ①「工事名表」画面にて、
ツールバーの  を
クリックします。



メニューバーの [ヘルプ]
- [Gaia チャンネル] を
クリックでも同様です。

- ②「Gaia チャンネル」画面にて
[ダウンロード] をクリック
します。

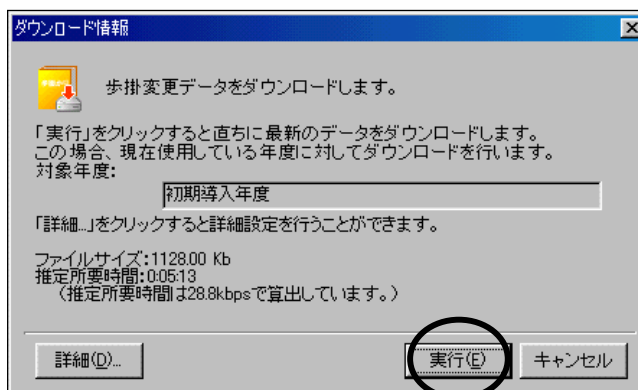


2. ダウンロードを実行する

「ダウンロード情報」画面が表示されます。

[実行] をクリックします。

ダウンロードが開始されます。
ダウンロードするデータの量によっては、
少々お時間がかかります。





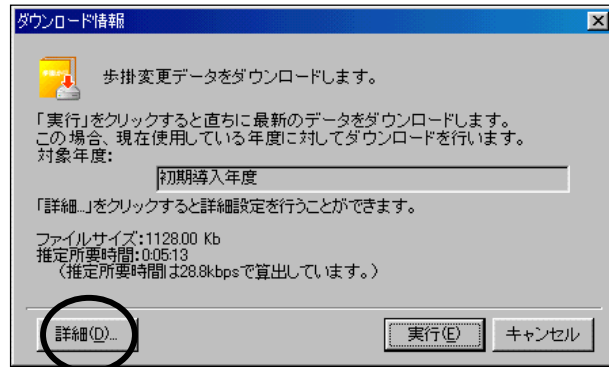
アップデートするデータの選択は、自動的にシステムが検知して最適なチェックを行いますので、通常はそのまま [実行] をクリックして下さい。

[詳細] にて詳細設定を行わない場合は、単価管理の年度一覧にて「使用年度」に設定されている年度のデータに対して差分がダウンロードされます。



● 詳細設定について

ダウンロードを行う際、必要に応じて [詳細] をクリックし、詳細設定を行うことができます。



① 対象年度

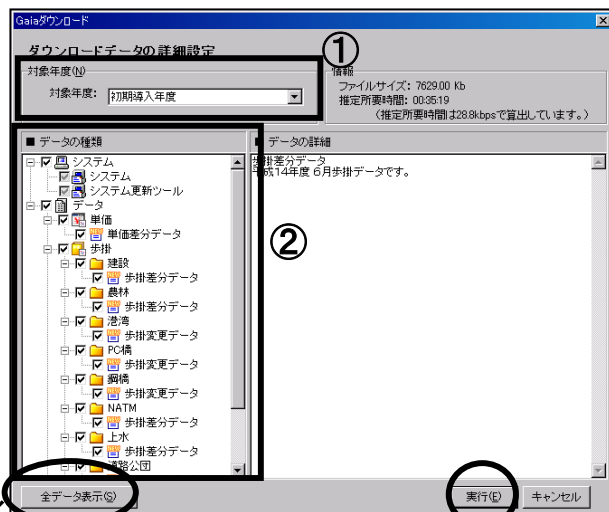
対象年度欄右側の▼をクリックし、ダウンロードの対象としたい年度を選択します。

選択した年度のデータとの差分がダウンロードされます。

② データの種類

ダウンロードするデータの種類をツリーにて設定します。

システムのみ、データのみ、単価・歩掛のみといった設定ができます。



③ 設定が終わりましたら、[実行] をクリックして下さい。ダウンロードが開始されます。

※表示方法 (クリックすると切り替わります。)

全データ表示……ダウンロード可能なデータがすべて表示されます。

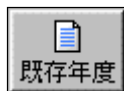
未更新のみ表示…現在、未更新のデータ (更新対象データ) のみ表示されます。

3. ダウンロードが完了する

「歩掛変更起動」画面が表示されると、ダウンロードは完了です。

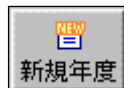
■続けて歩掛変更を行う場合

対象年度に対して歩掛変更を行う場合は

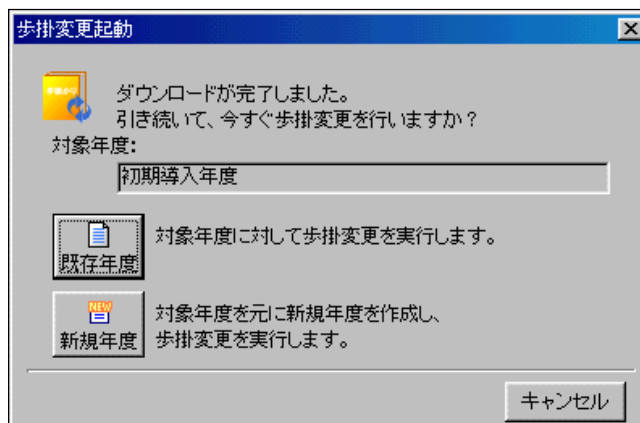


をクリックします。

対象年度を元に新規年度を作成し歩掛変更を行う場合は



をクリックします。



詳細は「[年度管理について \(P.5\)](#)」をご参照下さい。

■後で歩掛変更を行う場合

後で歩掛変更を行う場合は [キャンセル] をクリックします。

ダウンロードしたデータの保存場所が表示されますので [OK] をクリックします。



このデータを利用して歩掛変更を行うには、データ管理の歩掛変更より「既存年度を更新する」もしくは「新規年度を作成する」を選択し、歩掛変更を実行して下さい。

詳細は「[年度管理について \(P.5\)](#)」をご参照下さい。

ダウンロード / 歩掛変更

年度管理について

ここでは、年度管理についてご説明します。

内容をご確認の上、ダウンロード・歩掛変更を行って下さい。



●年度管理とは

歩掛変更では、年度管理を行う場合と行わない場合で操作が異なります。

- ・古い年度の単価や歩掛を使って、今後積算される場合・・・「年度管理を行う」
([「新規年度を作成し歩掛変更する \(P.6\)」](#)の作業のみ行って下さい。)
- ・新しい年度の単価と歩掛のみで、今後積算される場合・・・「年度管理を行わない」
([「既存年度に歩掛変更する \(P.17\)」](#)の作業のみ行って下さい。)

■「年度管理を行う」場合

([「新規年度を作成し歩掛変更する \(P.6\)」](#)の作業のみ行って下さい。)

歩掛変更後も前年の歩掛や単価を使用できるように、歩掛変更作業の中で新規に年度を作成し、管理することを意味します。

年度の数が増えると、データの容量も大きくなります。このため、歩掛変更は年数回ございますが、通常第1回歩掛変更時のみ年度作成を行います。

例：「平成13年」と「平成14年」という2つの年度管理を行う場合、「平成14年度」の第2回目・第3回目の歩掛変更では、年度作成する必要はありません。

*ただし、春と秋で単価も歩掛も個別に管理されたい場合は、「年度管理を行う」の手順に従って操作して下さい。

■「年度管理を行わない」場合

([「既存年度に歩掛変更する \(P.17\)」](#)の作業のみ行って下さい。)

前年の歩掛や単価は使用できなくなります。

すでに新規年度を作成されている場合も、こちらの手順にしたがい作業を行って下さい。

歩掛変更後、常に新しい歩掛と単価のみ使用される場合は、歩掛変更作業では既存の年度に歩掛と単価（損料と追加単価のみ）を上書きします。


*詳細は、「追加単価一覧」「上書き単価一覧」でご覧下さい。

すでに作成された工事の内容を確認したり、印刷することはできますが、再編集（単価の再積上げや歩掛の再実行）を行うと、新しい年度の歩掛や単価に変わります。

ダウンロード / 歩掛変更

新規年度を作成し歩掛変更する

歩掛変更の一連作業で新規に年度を作成することができます。ここでは、既存の年度を残して、新規に年度を作成する場合の手順についてご説明します。歩掛変更後も前年の歩掛や単価を使用する場合は、新規に年度を作成して年度管理をします。

 すでにある年度を対象に歩掛変更する場合、またはすでに新規に年度を作成済の場合は、
「[既存年度に歩掛変更する \(P. 17\)](#)」
をご参照下さい。

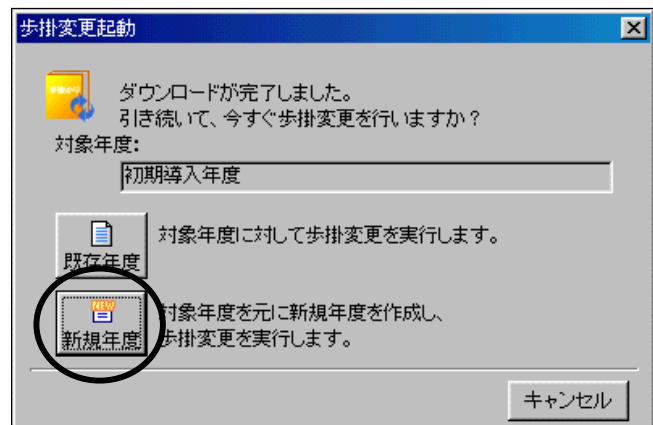
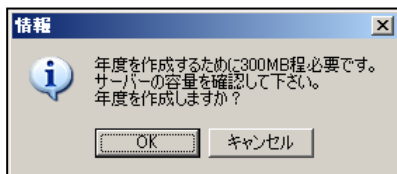
1. 「歩掛変更起動」画面が表示される

ダウンロードが完了し、「歩掛変更起動」画面が表示されます。

[新規年度] をクリックします。

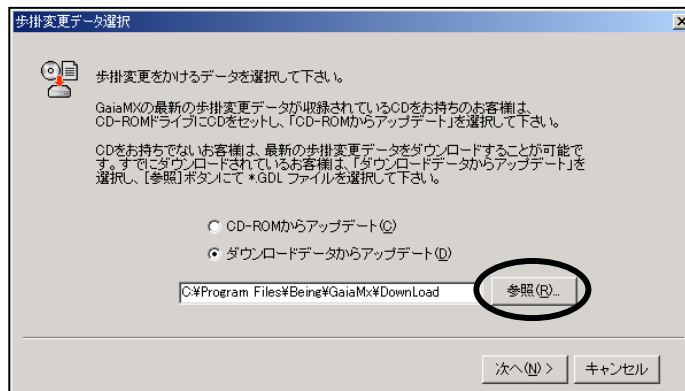


クライアント版の場合は、下図のメッセージが表示されます。サーバーの空き容量を確認し、「OK」をクリックして下さい。



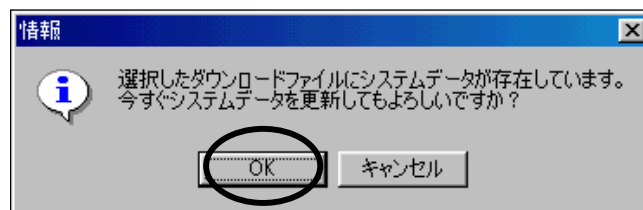
すでにダウンロードしてあるデータを使って歩掛変更する場合は、起動メニューより [データ管理] を起動し、[歩掛変更] 機能の「新規年度を作成する」をダブルクリックします。

「歩掛変更データ選択」画面が表示されます。「ダウンロードデータからアップデート」を選択し、[参照] をクリックし、保存されているダウンロードデータを選択して下さい。

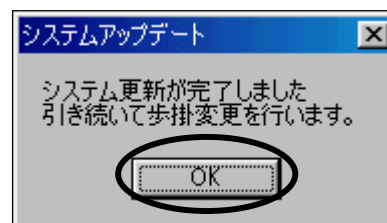


選択が終わりましたら、[次へ] をクリックして下さい。

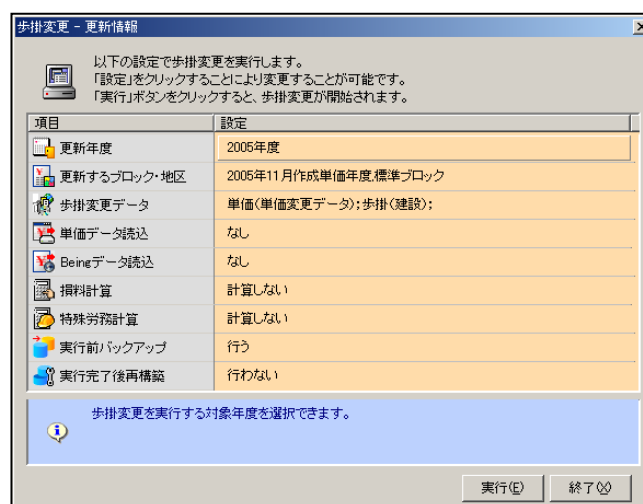
ダウンロードしたファイルの中にシステムデータが存在している場合、右図のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。



システムの更新が完了すると、右図のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして下さい。

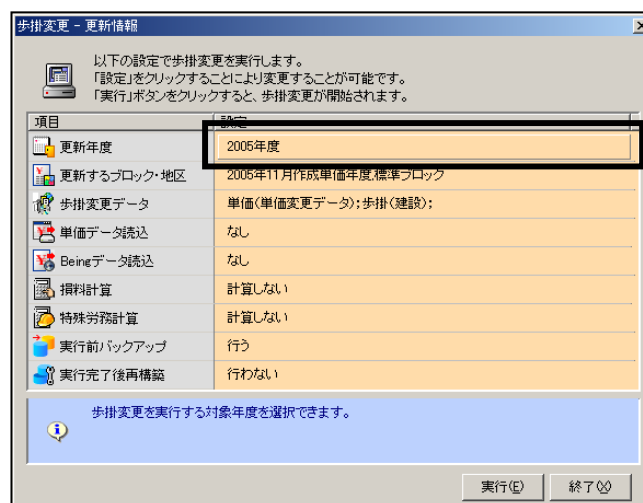


「歩掛変更－更新情報」画面が表示されます。



2. 更新年度を設定する

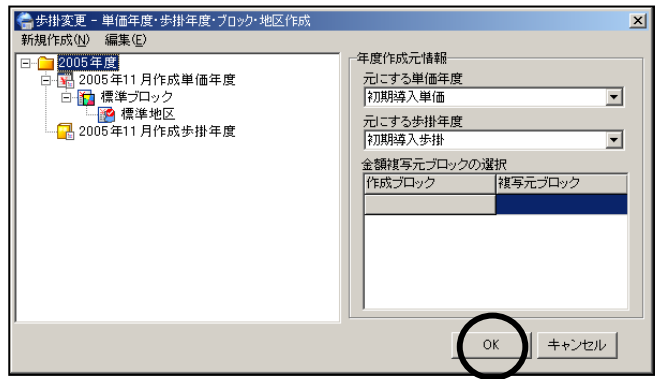
更新年度の設定欄をクリックします。



「歩掛変更－単価年度・歩掛年度・ブロック・地区作成」画面が表示されます。

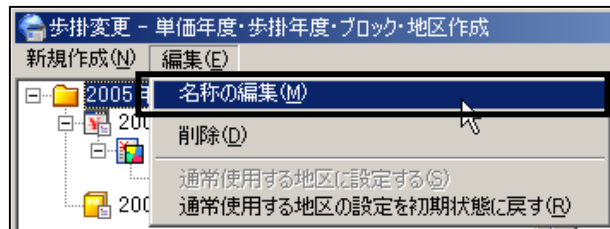
現在の年度・ブロック・地区の情報を設定することができます。

各項目の設定が終わりましたら [OK] をクリックします。



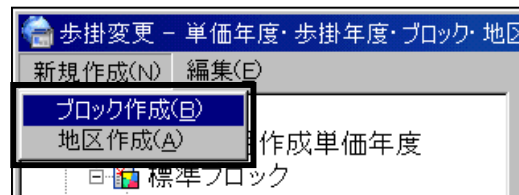
●名称を変更する

ツリーにて編集を行いたい項目を選択し、メニューバーの [編集] - [名称の編集] をクリックし、名称を変更します。

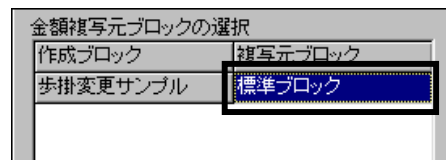


●ブロック・地区を作成する

メニューバーの [新規作成] から、[ブロック作成] または [地区作成] をクリックし、ブロックまたは地区を追加します。



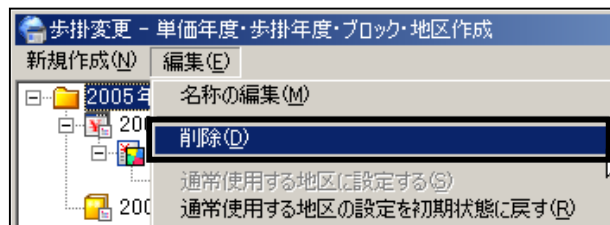
ブロックの作成を行った場合は、金額複写元ブロックの選択を行います。作成したブロックの複写元ブロック欄をダブルクリックし、設定を行います。



●ブロック・地区を削除する

新たに作成したブロック・地区のみ削除することができます。

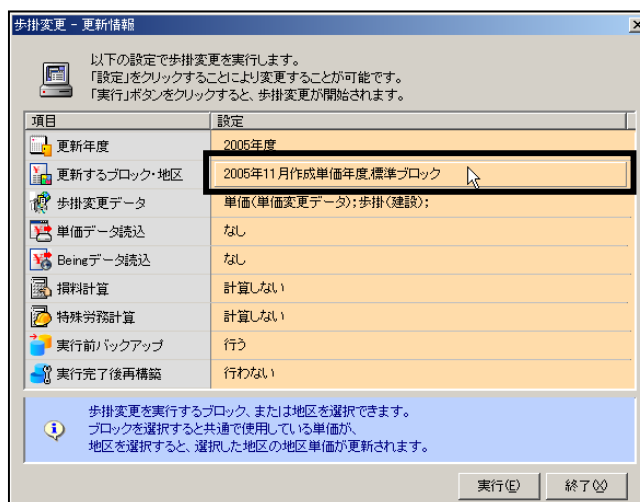
ツリーにて削除したいブロック、または地区を選択し、メニューバーの [編集] - [削除] をクリックします。



3. 更新するブロック（地区）を設定する

損料等の単価を更新するための単価年度のブロック（地区）を設定します。

「更新するブロック・地区」の「設定」欄をクリックします。



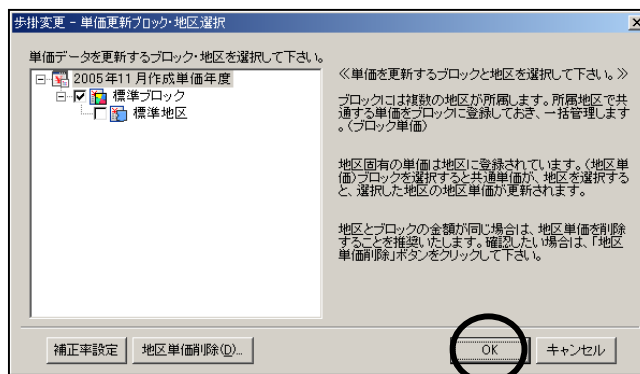
「歩掛変更－単価更新ブロック・地区選択」画面が表示されます。

歩掛変更を行う単価年度のブロック（地区）をチェックし、選択します。

通常は、ブロックのみを選択します。

* 損料等を地区ごとに登録されている場合は、地区を選択する必要があります。

設定が終わりましたら [OK] をクリックします。

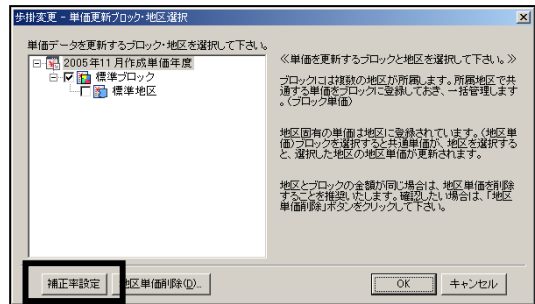


歩掛変更で更新される単価は、損料と追加になった単価項目のみです。労務単価や資材単価等の単価金額は更新されませんのでご注意ください。



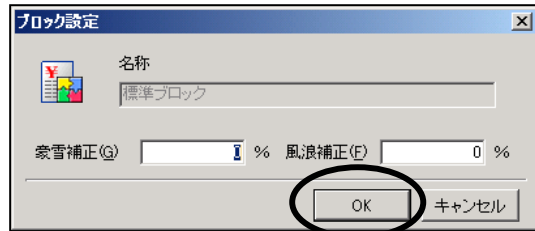
●補正率を設定する (必要のない場合は次ページへお進み下さい。)

[補正率設定] をクリックすると、補正率を設定する「ブロック設定」画面または「地区設定」画面が表示されます。



「ブロック設定」画面または「地区設定」画面では、現在の「豪雪補正」「風浪補正」が表示されています。

機械損料に対する「豪雪補正」「風浪補正」の率を設定することが可能です。お客様の地域がこの補正地区に該当する場合は、こちらに補正数値を入力して下さい。設定が終わりましたら、[OK] をクリックします。



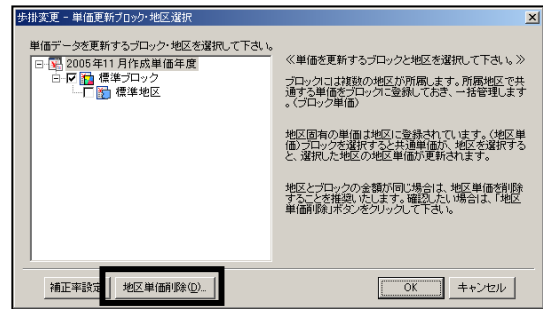
ブロックのプロパティで「所属地区では共通の設定で計算する」にチェックが付いている場合は、そのブロックに所属する地区については、補正率の変更はできません。この場合そのブロックに所属するすべての地区にブロックの補正率が適用されます。



●地区単価を削除する (必要のない場合は次ページへお進み下さい。)

[地区単価削除] をクリックすると、「単価」画面が表示されます。

損料等、全国共通の単価金額データを地区ごとに持っているかどうかを確認できます。



金額の色が黒色であれば、単価金額データを地区で持っていることとなります。これを地区単価といいます。損料等、通常は全国共通の単価ですので、地区ごとに管理する必要がなければ、削除します。

金額の色が青色であれば、削除する必要はありません。

- ①地区単価を削除したい分類を表示させ、「No」欄をクリックし行を反転表示させます。

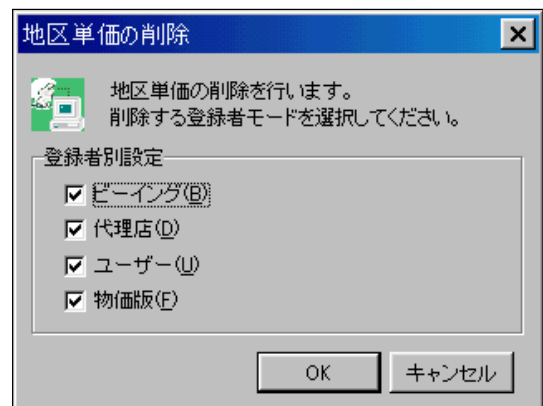
メニューバーの [編集] - [地区単価削除] をクリックします。



- ②登録者モードを選択します。任意のモードにチェックをし、[OK] をクリックします。

* 損料データを削除する場合は、特にチェックを変更する必要はありません。

地区単価削除が開始されます。



削除が完了すると、「単価」画面に戻ります。金額の色が黒色から青色に変わっていることを確認して下さい。

作業が完了しましたら、画面右上の [X] をクリックします。

区:標準地区 (標準ブロック)				
区:標準地区 (標準ブロック)				
■単価 - 建設機械損料 - 運搬機械 - タンクトラック				
No		名称	規格	運転1時間当損料
1		タンクトラック	普通・ディーゼル 2t	283
2		タンクトラック	普通・ディーゼル 4t	450
3		タンクトラック	普通・ディーゼル 6~7t	826
4		タンクトラック	普通・ディーゼル 8t	882
5		タンクトラック	普通・ディーゼル 10t	1,200

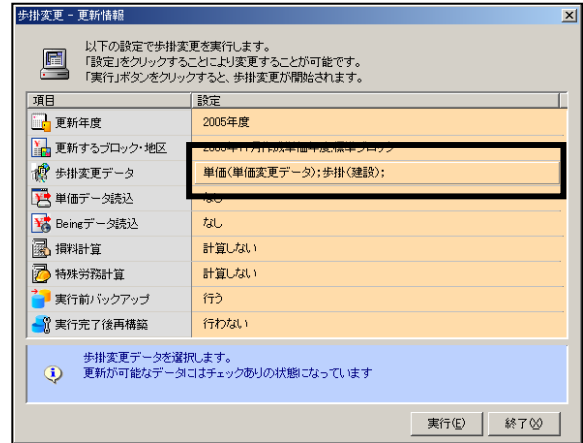


● 歩掛変更データを設定する



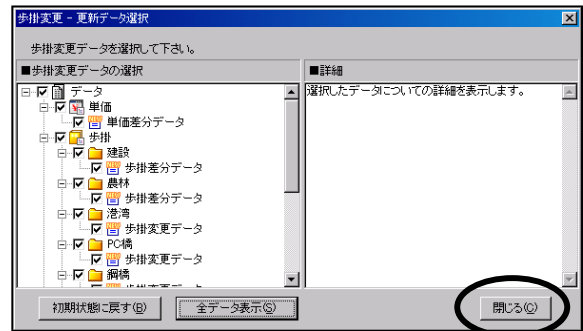
歩掛変更については自動で設定されますので、通常は変更する必要はありません。「[データ読込を設定する](#)」へお進み下さい。

歩掛変更データの設定欄をクリックします。



「歩掛変更－更新データ選択」画面が表示されます。

更新データをチェックし選択します。設定が終わりましたら、[閉じる]をクリックします。



● 表示方法の切り替え

全データ表示……………更新済みデータ・未更新データがすべて表示されます。
未更新データ表示…現在未更新のデータ（更新対象データ）のみ表示されます。



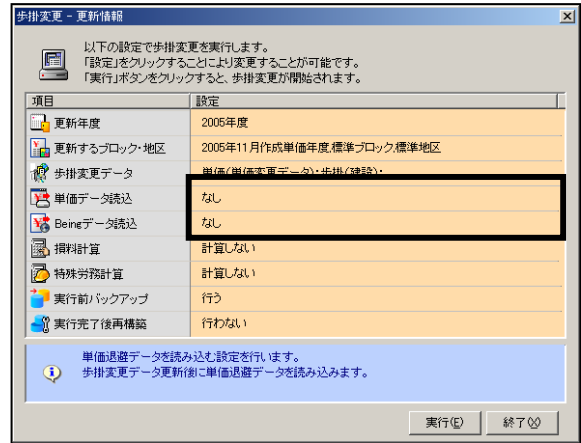
●データ読込を設定する



お手元に単価データがある場合、歩掛変更後にデータ読込を行うことができます。
必要のない場合は「[手順4. 環境設定を行う](#)」へお進み下さい。

単価データ読込・Beingデータ読込の設定欄をクリックします。

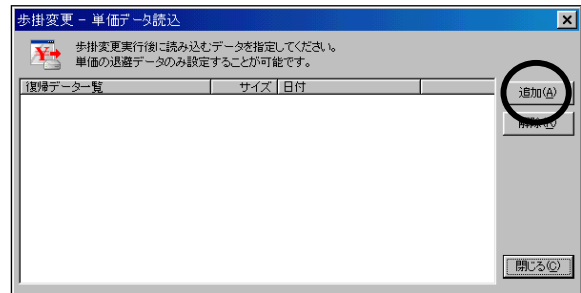
ここでは例として、単価データ読込を設定します。



- ①「歩掛変更－単価データ読込」画面が表示されます。

歩掛変更実施後に、単価の退避データを読み込むことができます。

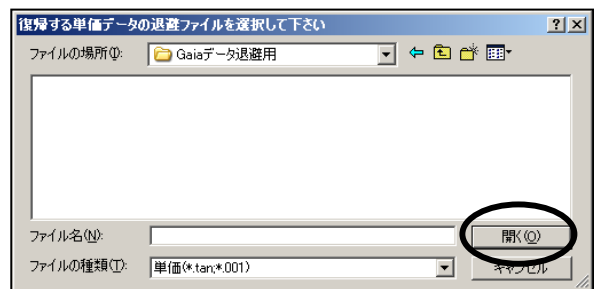
読み込みたいデータがある場合は、
[追加] をクリックし、データ読込の詳細を設定します。



復帰したいデータを選択し、[開く] をクリックします。



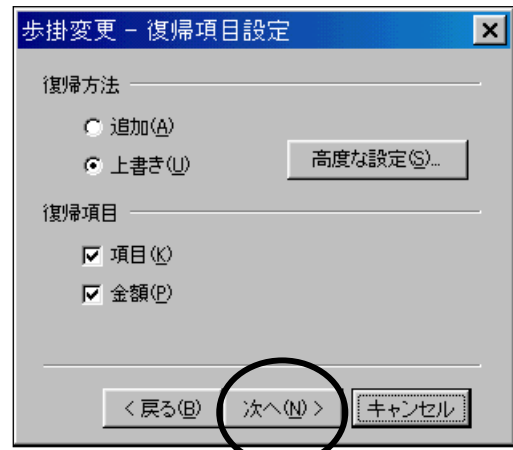
フロッピーからデータを復帰することもできます。
フロッピーが複数枚ある場合は、
2枚、3枚と表示されるメッセージにしたがって、フロッピーを差し替えて下さい。





② 「歩掛変更－復帰項目設定」画面が表示されます。

復帰方法・復帰項目を設定し、[次へ] をクリックします。

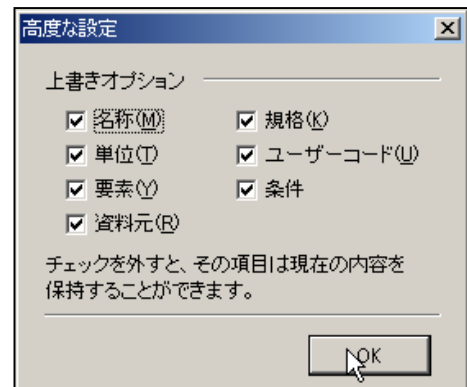


<復帰方法について>

- ・追加 … 追加単価のみが復帰されます。
復帰元単価と復帰先単価を比較し、復帰元単価で追加されているもののみ書込みます。
- ・上書き … 項目名（名称、規格等）、金額等が復帰元の内容に書き変わります。
ただし、復帰元単価と復帰先単価を比較し、復帰先に存在しない単価は追加されます。

・高度な設定（上書きオプション）

復帰方法で「上書き」を設定している場合のみ有効です。名称／規格／単位／ユーザーコード／要素／条件／資料元 のうち、チェックしている項目が上書きされます。



<復帰項目について>

- ・項目 … 大分類／中分類／小分類／名称・規格 を復帰します。
「復帰方法」で「追加」を選択しますと、「項目」は自動的にチェックされます。
- ・金額 … 金額・単価資料元を復帰します。

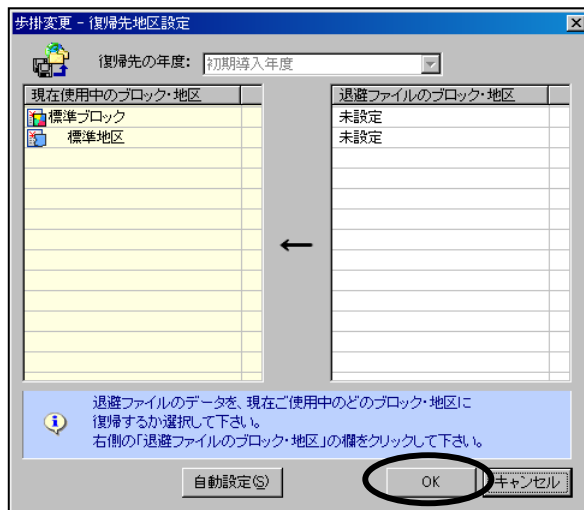


③ 「歩掛変更－復帰先地区設定」画面が表示されます。

復帰先の地区を設定し、[OK] をクリックします。



「復帰しない」と表示されているブロック・地区に対しては復帰されません。
一度ブロック・地区を設定した項目を解除する場合は、対象の項目上で右クリックメニューの「未設定」をクリックします。

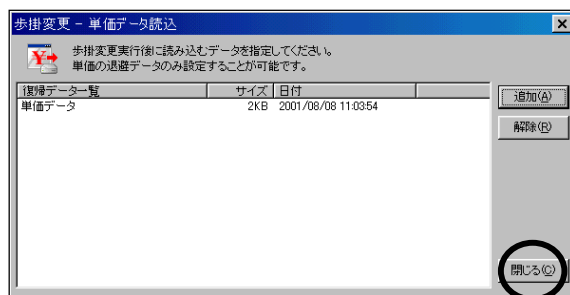


選択が終わりましたら [OK] をクリックします。

選択が完了すると、「歩掛変更－単価データ読込」画面に戻ります。

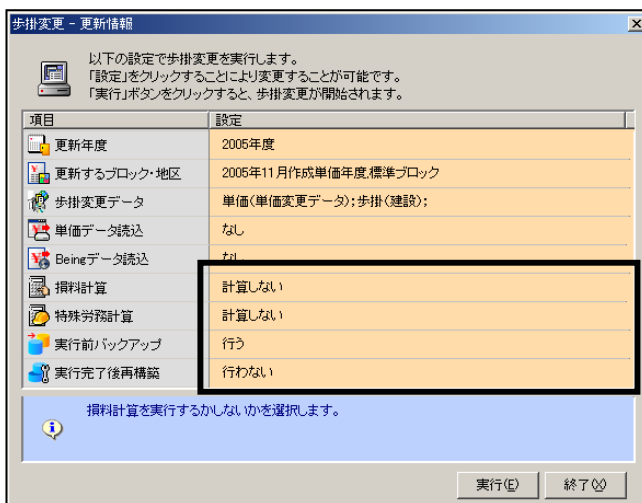
設定を行ったデータが画面に表示されます。

作業が完了しましたら、[閉じる] をクリックします。



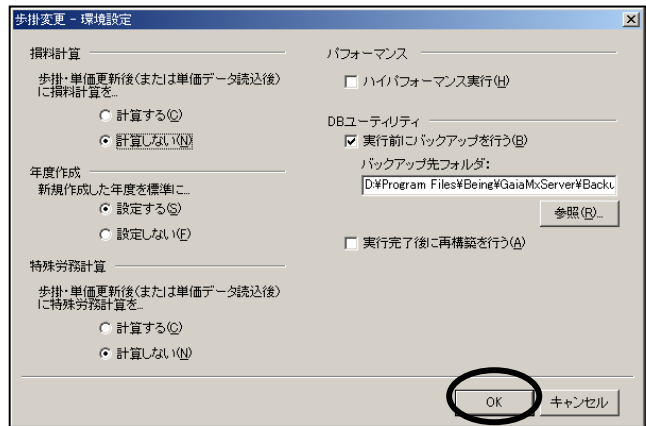
4. 環境設定を行う

損料計算・特殊労務計算・
実行前バックアップ・実行完了後再構築
のいずれかの設定欄をクリックします。

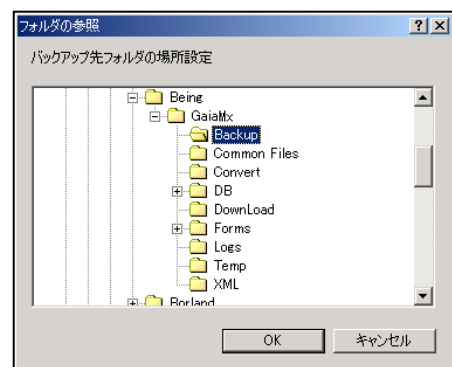


「歩掛変更－環境設定」画面が表示されます。

各項目を設定し、[OK] をクリックします。



DBユーティリティの「実行前にバックアップを行う」にチェックを付けた場合、
[参照] をクリックすると、右の画面が表示され、バックアップ先フォルダを変更できます。



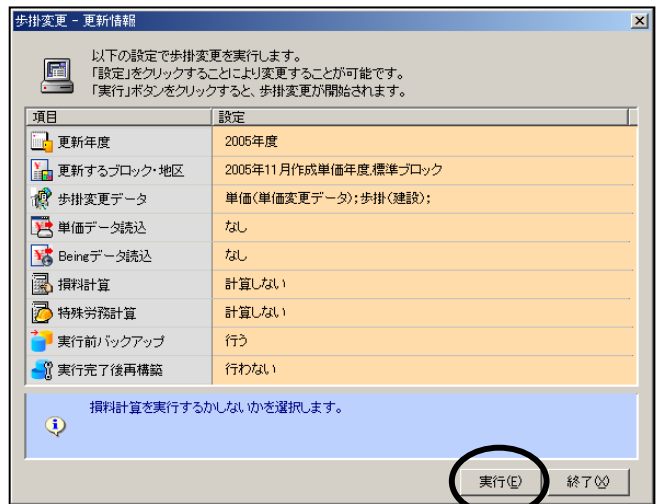
5. 歩掛変更を実行する

すべての設定が完了しましたら、[実行] をクリックします。

歩掛変更が開始されます。



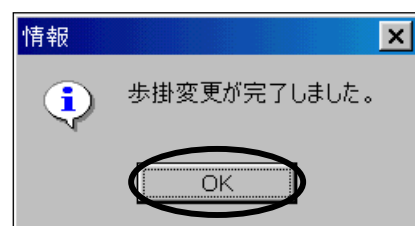
更新する件数、バックアップ・再構築の有無によっては、お時間がかかります。
[実行] をクリックした後は、絶対に強制終了を行わないで下さい。
データが破損する可能性があります。



6. 歩掛変更が完了する

右図のメッセージが表示されると、歩掛変更は完了です。

[OK] をクリックして下さい。
「データ管理」画面に戻ります。



ダウンロード / 歩掛変更

既存年度に歩掛変更する

ここでは、前年度の歩掛や単価を残さない（常に最新の情報のみにする）場合の操作方法についてご説明します。

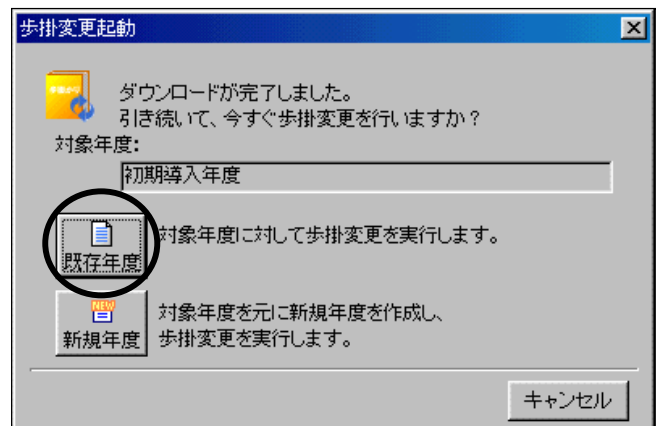


新規に年度を作成し、歩掛変更を行う場合は、またはすでに新規に年度を作成済の場合は、「[新規年度を作成し歩掛変更する \(P.6\)](#)」をご参照下さい。

1. 「歩掛変更起動」画面が表示される

ダウンロードが完了し、「歩掛変更起動」画面が表示されます。

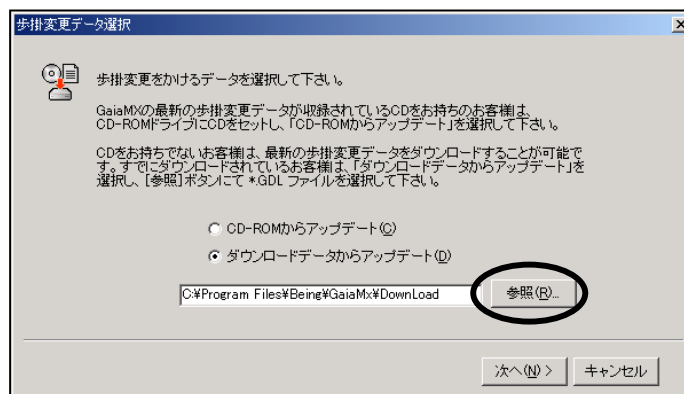
[既存年度] をクリックします。



すでにダウンロードしてあるデータを使って歩掛変更する場合は、起動メニューより [データ管理] を起動し、[歩掛変更] 機能の「新規年度を作成する」をダブルクリックします。

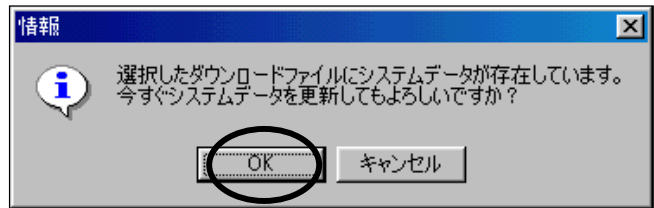
「歩掛変更データ選択」画面が表示されます。

「ダウンロードデータからアップデート」を選択し、[参照] をクリックし、保存されているダウンロードデータを選択して下さい。

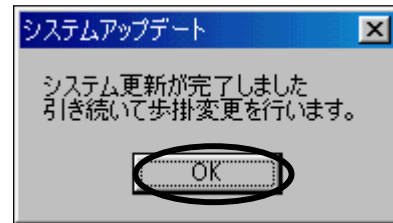


選択が終わりましたら、[次へ] をクリックして下さい。

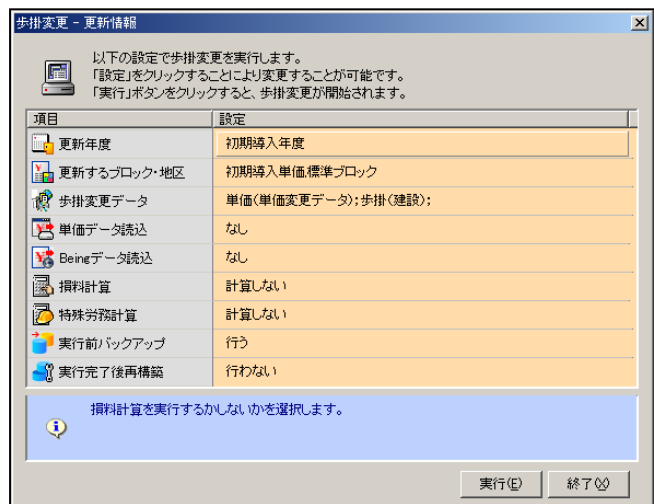
ダウンロードしたファイルの中にシステムデータが存在している場合、右図のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



システムの更新が完了すると、右図のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックして下さい。

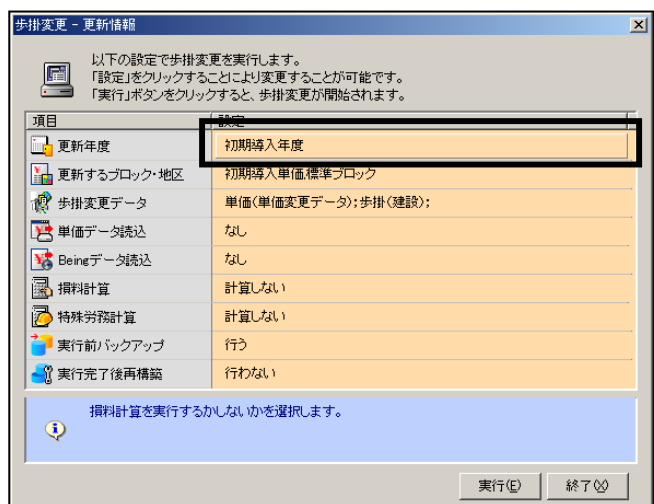


「ステップ変更－更新情報」画面が表示されます。



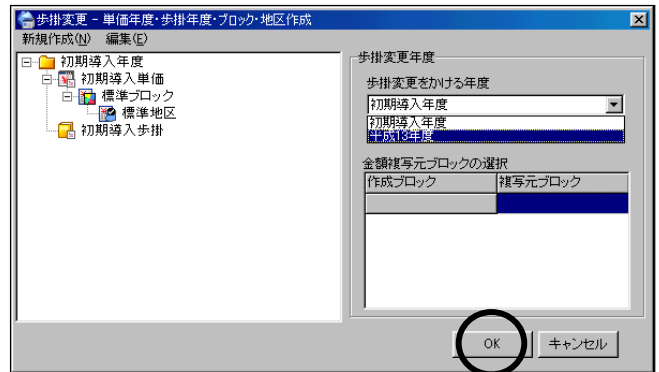
2. 更新年度を設定する

更新年度の設定欄をクリックします。



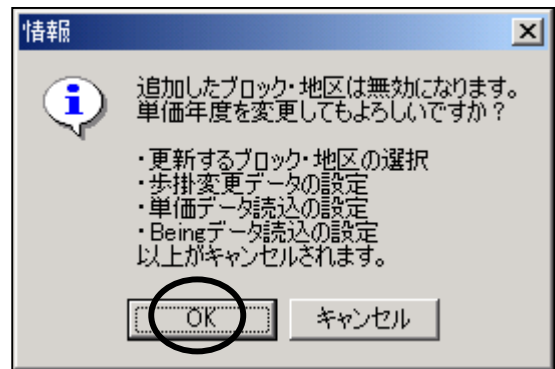
「歩掛変更－単価年度・歩掛年度・ブロック・地区作成」画面が表示されます。

「歩掛変更をかける年度」の▼をクリックし、選択して下さい。



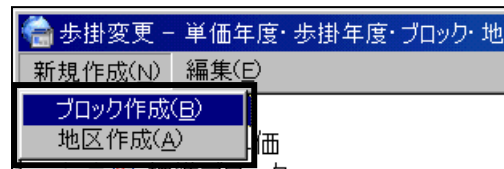
年度を変更した場合、右図のメッセージが表示されます。

[OK] をクリックして下さい。

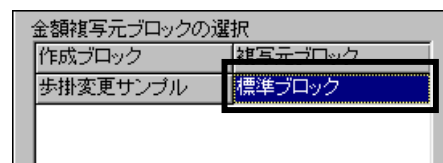


●ブロック・地区を作成する

メニューバーの [新規作成] から、[ブロック作成] または [地区作成] をクリックし、ブロックまたは地区を追加します。



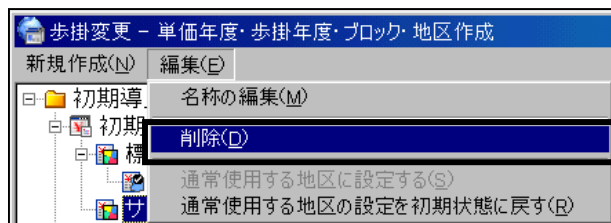
ブロックの作成を行った場合は、金額複写元ブロックの選択を行います。作成したブロックの複写元ブロック欄をダブルクリックし、設定を行います。



●ブロック・地区を削除する

新たに作成したブロック・地区のみ削除することができます。

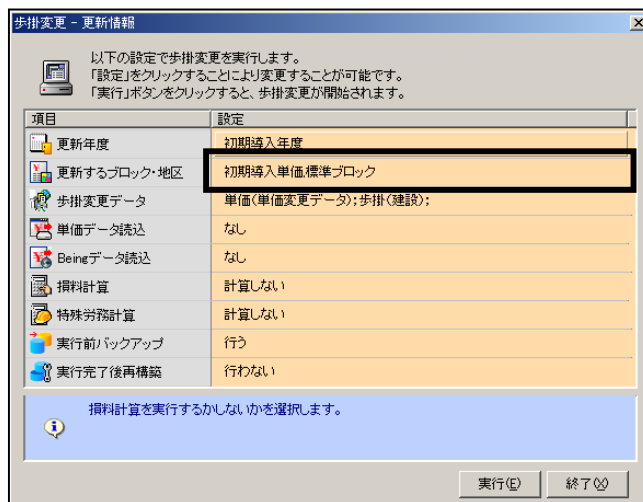
ツリーにて削除したいブロック、または地区を選択し、メニューバーの [編集] - [削除] をクリックします。



3. 更新するブロック（地区）を設定する

損料等の単価を更新するための単価年度のブロック（地区）を設定します。

「更新するブロック・地区」の「設定」欄をクリックします。

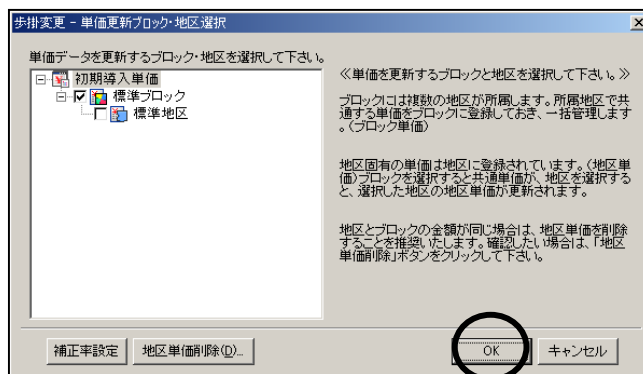


「歩掛変更－単価更新ブロック・地区選択」画面が表示されます。

歩掛変更を行う単価年度のブロック（地区）をチェックし、選択します。

通常は、ブロックのみを選択します。
* 損料等を地区ごとに登録されている場合は、地区を選択する必要があります。

設定が終わりましたら [OK] をクリックします。

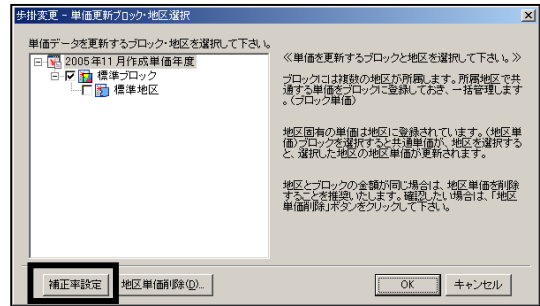


歩掛変更で更新される単価は、損料と追加になった単価項目のみです。労務単価や資材単価等の単価金額は更新されませんのでご注意ください。

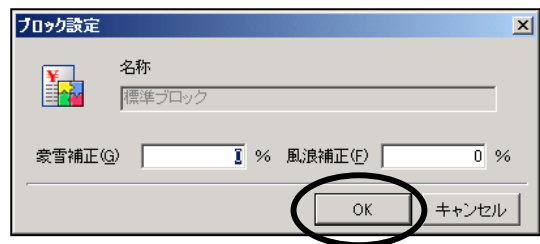


●補正率を設定する (必要のない場合は次ページへお進み下さい。)

「補正率設定」をクリックすると、補正率を設定する「ブロック設定」画面または「地区設定」画面が表示されます。



「ブロック設定」画面または「地区設定」画面では、現在の「豪雪補正」「風浪補正」が表示されています。



機械損料に対しての「豪雪補正」「風浪補正」の率を設定することが可能です。お客様の地域がこの補正地区に該当する場合は、こちらに補正数値を入力して下さい。設定が終わりましたら、[OK]をクリックします。



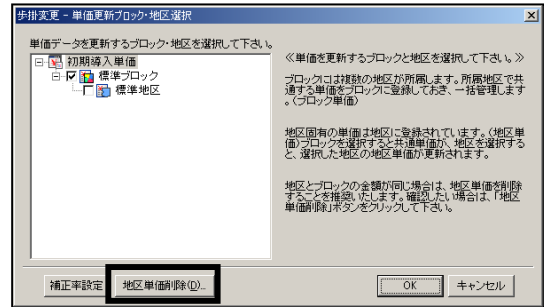
ブロックのプロパティで「所属地区では共通の設定で計算する」にチェックが付いている場合は、そのブロックに所属する地区については、補正率の変更はできません。この場合そのブロックに所属するすべての地区にブロックの補正率が適用されます。



●地区単価を削除する (必要のない場合は次ページへお進み下さい。)

[地区単価削除] をクリックすると、「単価」画面が表示されます。

損料等、全国共通の単価金額データを地区ごとに持っているかどうかを確認できます。

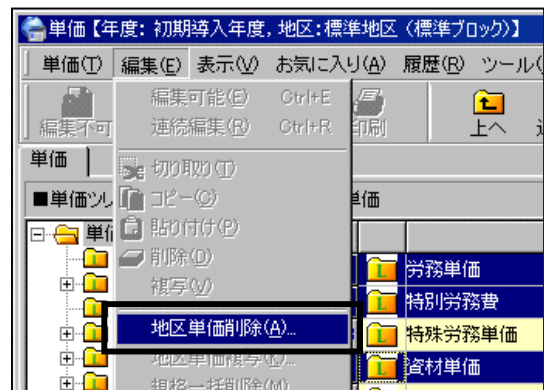


金額の色が黒色であれば、単価金額データを地区で持っていることとなります。これを地区単価といいます。損料等、通常は全国共通の単価ですので、地区ごとに管理する必要がなければ、削除します。

金額の色が青色であれば、削除する必要はありません。

- ①地区単価を削除したい分類を表示させ、「No」欄をクリックし行を反転表示させます。

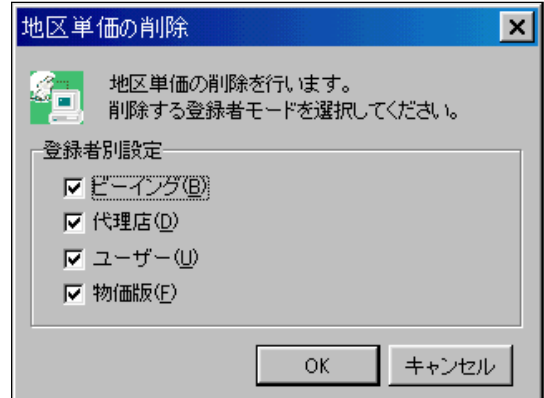
メニューバーの [編集] - [地区単価削除] をクリックします。



- ②登録者モードを選択します。任意のモードにチェックをし、[OK] をクリックします。

* 損料データを削除する場合は、特にチェックを変更する必要はありません。

地区単価削除が開始されます。



削除が完了すると、「単価」画面に戻ります。金額の色が黒色から青色に変わっていることを確認して下さい。

作業が完了しましたら、画面右上の [X] をクリックします。

区:標準地区 (標準ブロック)			
No			
No	名称	規格	運転1時間当損料
1	ガンボトラック	普通・ディーゼル 2t	289
2	ガンボトラック	普通・ディーゼル 4t	450
3	ガンボトラック	普通・ディーゼル 6.7t	826
4	ガンボトラック	普通・ディーゼル 8t	882
5	ガンボトラック	普通・ディーゼル 10t	1,200

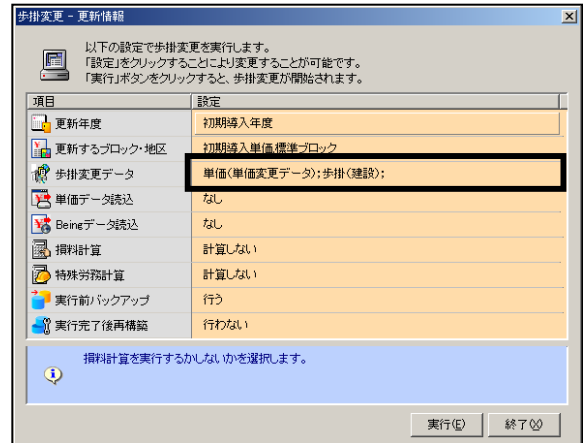


●歩掛変更データを設定する



歩掛変更については自動で設定されますので、通常は変更する必要はありません。
「[データ読込を設定する](#)」へお進み下さい。

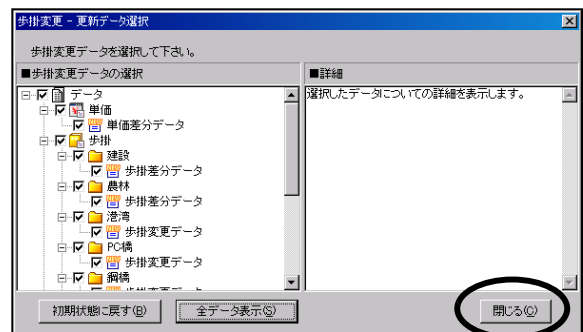
歩掛変更データの設定欄をクリックします。



「歩掛変更－更新データ選択」画面が表示されます。

更新データをチェックし選択します。

設定が終わりましたら、[閉じる]をクリックします。



●表示方法の切り替え

全データ表示……………更新済みデータ・未更新データがすべて表示されます。
未更新データ表示…現在未更新のデータ（更新対象データ）のみ表示されます。



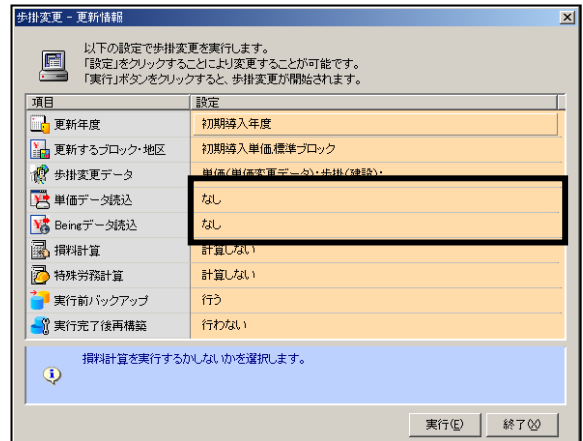
●データ読込を設定する



お手元に単価データ等がある場合、歩掛変更実施後にデータ読込を行うことができます。
必要のない場合は「[手順4. 環境設定を行う](#)」へお進み下さい。

単価データ読込・Beingデータ読込の設定欄をクリックします。

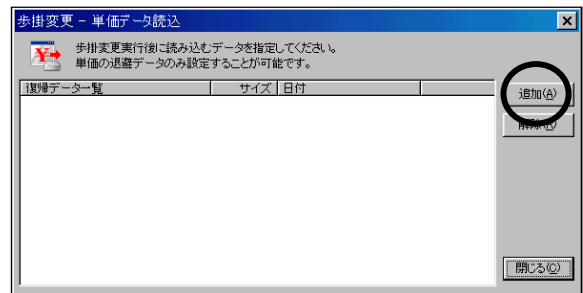
ここでは例として、単価データ読込を設定します。



①「歩掛変更－単価データ読込」画面が表示されます。

歩掛変更実施後に、単価の退避データを読み込むことができます。

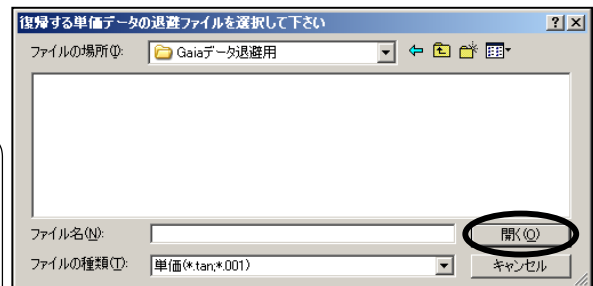
読み込みたいデータがある場合は、
[追加]をクリックし、データ読込の詳細を設定します。



復帰したいデータを選択し、[開く]をクリックします。



フロッピーからデータを復帰することもできます。
フロッピーが複数枚ある場合は、
2枚、3枚と表示されるメッセージにしたがって、フロッピーを差し替えて下さい。





②「歩掛変更－復帰項目設定」画面が表示されます。

復帰方法・復帰項目を設定し、[次へ] をクリックします。

< 復帰方法について >

- ・ 追加 … 追加単価のみが復帰されます。
復帰元単価と復帰先単価を比較し、復帰元単価で追加されているもののみ書込みます。
- ・ 上書き … 項目名（名称、規格等）、金額等が復帰元の内容に書き変わります。
ただし、復帰元単価と復帰先単価を比較し、復帰先に存在しない単価は追加されます。

・ 高度な設定（上書きオプション）

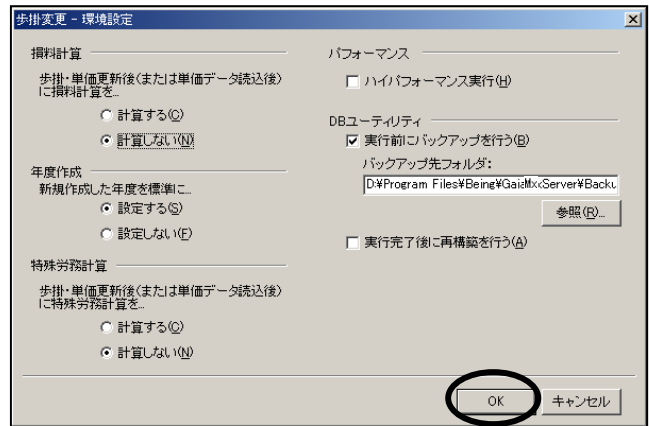
復帰方法で「上書き」を設定している場合のみ有効です。名称／規格／単位／ユーザーコード／要素／条件／資料元 のうち、チェックしている項目が上書きされます。

< 復帰項目について >

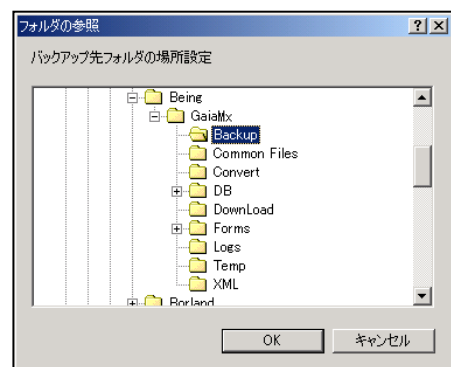
- ・ 項目 … 大分類／中分類／小分類／名称・規格 を復帰します。
「復帰方法」で「追加」を選択しますと、「項目」は自動的にチェックされます。
- ・ 金額 … 金額・単価資料元を復帰します。

「歩掛変更－環境設定」画面が表示されます。

各項目を設定し、[OK] をクリックします。



DBユーティリティの「実行前にバックアップを行う」にチェックを付けた場合、
[参照] をクリックすると、右の画面が表示され、バックアップ先フォルダを変更できます。



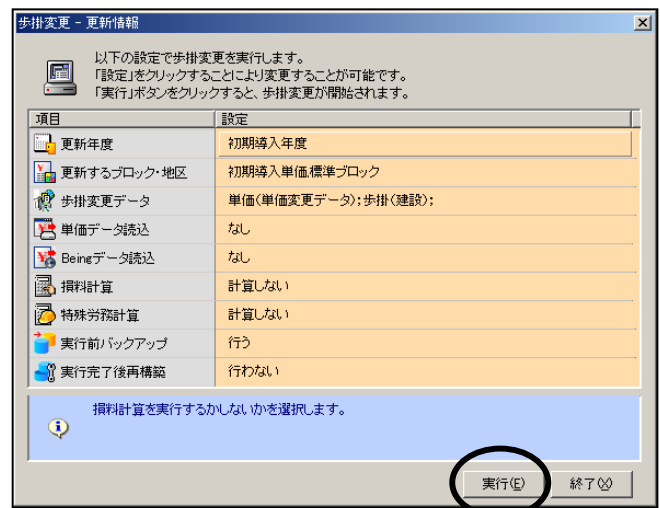
5. 歩掛変更を実行する

すべての設定が完了しましたら、[実行] をクリックします。

歩掛変更が開始されます。



更新する件数、バックアップ・再構築の有無によっては、お時間がかかります。
[実行] をクリックした後は、絶対に強制終了を行わないで下さい。
データが破損する可能性があります。



6. 歩掛変更が完了する

右図のメッセージが表示されると、歩掛変更は完了です。

[OK] をクリックして下さい。
「データ管理」画面に戻ります。

